



2026 年  
10 月 7 日  
No.A26-06

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2026 年 9 月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) トップ・ミーティング

・9 月 29 日 (火)、松田 康博 東京大学東洋文化研究所 教授「中台関係の現状と展望：欧州と中東の危機は東アジアに波及するか？」

(於：オークラ東京)

#### 〈要旨〉

松田教授からは、習近平体制下の中国の権力構造をはじめ、台湾国内の政治的変遷、中国・台湾の国内状況が国際社会においてどのように作用し、いかなる関係が構築されているのかについて説明がなされた。また講演後、活発な質疑応答が行われた。

#### (2) 中東情勢オンライン講演会

・9 月 11 日 (金)、芹澤 清 駐イラン大使「ホルムズ海峡の鍵を握る国、オマーン」(Zoom 形式)

#### 〈要旨〉

芹澤大使より、ホルムズ海峡をめぐる情勢と、外交的解決や国際法の遵守を重視するオマーンの対応について説明があった。海峡の航路をめぐるイランとの協議状況や、両国の立場の違いについて解説がなされた。参加者からは、ホルムズ海峡やオマーン的外交政策、安全保障の観点などについて、多数の質問が寄せられた。



## 2. 中東調査会の活動

### (1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2026 年 9 月号 (2026 年 10 月 7 日付)
- 1. ガザ戦争 (第 3 四半期の動き) : 継続する停滞状態・改善しない生活環境
- 2. サウジ、イエメン : 紛争の激化とサウジの石油施設の損害
- 3. エジプト : 地中海側での原油積み出し倍増とエネルギー安全保障
- 4. アルジェリア : LNG、ナフサのアジア市場への販路拡大
- 5. トルコ : イラク北部のバシカ基地を段階的にイラク政府に引き渡しへ
- 6. イスラエル : 好調な経済と戦争の影響
- 7. アフガニスタン : 反ターリバーン活動が活発化か
- 8. イラン : 高いレベルのインフレ率が継続

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

### (2) 中東かわら版の発行

- ・No.73「[ヨルダン：イランによる攻撃地点の拡大とヨルダンへの影響](#)」(主任研究員 平 寛多朗、9 月 2 日)
- ・No.74「[リビア：東西統一に立ちはだかる司法の分断](#)」(主任研究員 平 寛多朗、9 月 9 日)
- ・No.75「[シリア：地域のエネルギー輸送の結節点を目指す試みと展望](#)」(特任研究員 高岡 豊、9 月 10 日)
- ・No.76「[アルジェリア：UAE と外交関係を断絶](#)」(主任研究員 平 寛多朗、9 月 14 日)
- ・No.77「[イスラエル：各党が提出した候補者名簿とその特徴](#)」(主任研究員 平 寛多朗、9 月 16 日)
- ・No.78「[モロッコ：下院選挙の結果とイスラーム主義政党の勢力回復](#)」(主任研究員 平 寛多朗、9 月 28 日)

※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

### (3) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- ・No.6「アフガニスタンでターリバーン支配を脅かす勢力はあるか？——反ターリバーン諸勢力の動向に注目して」(協力研究員 青木 健太、9 月 2 日)
- ・No.7「米国の中東政策の動向——ハーメネイー殺害の中長期的位置づけと影響を軸とした考察——」(客員研究員 森 まり子、9 月 25 日)

※内容はホームページをご参照ください

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/report/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/))

## 3. その他

### (1) 要人往来

- ・1 日、国光副外相は、訪日中のリビアのアル・ゴウジュ保健相とワーキング・ディナーを行った。
- ・8 日、茂木外相は、イランのアラグチー外相と電話会談を行った。
- ・14 日、茂木外相は、イエメンのズーバ外相と電話会談を行った。
- ・22 日、国連総会出席のためにニューヨークを訪問中の高市首相は、トルコのエルドアン大統領と会談した。

### (2) 外務省人事

- ・8 日 (火) 離任  
駐イラン大使 塚田玉樹
- ・16 日 (水) 発令  
駐イラン大使 森川徹

#### 4. 10 月の予定

- ・10 月 9 日（金）10:30～11:30、中東情勢講演会（菅谷 正道・中東第二課長「最近の中東情勢」）、於：日本記者クラブ「会見場」（日本プレスセンタービル 9 階）
- ・10 月 15 日（木）14:00～15:30、中東情勢オンライン講演会（小林周 武蔵野大学准教授「北アフリカは「新たな湾岸」になるか？——ホルムズ海峡封鎖がもたらした危機と機会」）
- ・10 月 27 日（火）8:30～10:00、トップ・ミーティング（高西 淳夫 早稲田大学理工学術院教授「ヒューマノイド・ロボット研究とその応用」）、於：オークラ東京 プレスステージタワー 7 階 「メイプル」（※法人会員限定）

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールや HP をご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

#### 5. 出版物刊行のご案内

・9 月 30 日（水）、『中東研究』第 557 号（2026 年度 Vol.II、定価：本体 2000 円＋税）が発行されました。本号は「イラン・米国／イスラエル戦争と安全保障」と題する特集を組み、「イラン戦争」で表面化したイランのペルシア湾／ホルムズ海峡に対する管理・支配権の思想、「イラン戦争」が GCC 諸国やトルコの外交・安全保障政策、ヨルダンの食料安全保障問題、及びエジプトの経済安全保障問題にもたらした影響、ホルムズ海峡封鎖を契機とした北アフリカ地域におけるエネルギー開発をめぐる課題、イラクのシーア派民兵諸派の広報活動にみられる独自の文化について分析した論文を所収しました。是非お手にとってご覧いただければ幸いです。

※詳細は[ホームページ](#)をご参照ください。

\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

\*ログインに必要な ID とパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。